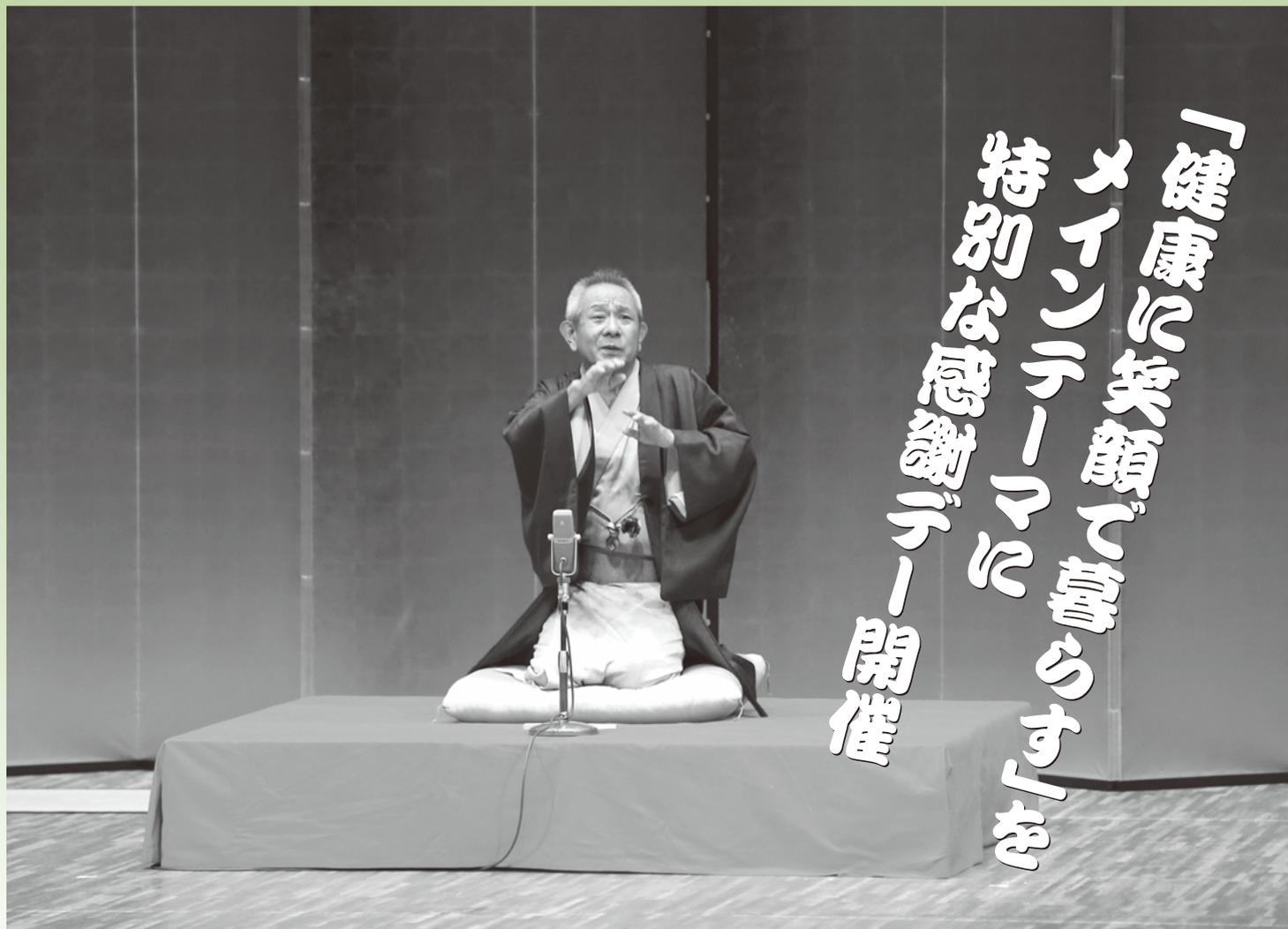


【ほすぴあ】きくがわ病院だより No.83

HOSPITAL

令和元年10月17日発行



菊川市制15周年記念事業「地域の皆さま感謝デーSPセッション」

令和元年9月21日、菊川市制15周年記念事業「地域の皆さま感謝デーSPセッション」を開催し、市内外から800人超の来場者の皆さまに楽しんでいただきました。

菊川市立総合病院広報

〒439-0022 静岡県菊川市東横地 1632 番地 TEL : 0537-35-2135(代) ・ FAX : 0537-35-4484
URL <https://www.kikugawa-hosp.jp>



菊川病院HP

菊川市制15周年記念事業「地域の皆さま感謝デーSPセッション」を開催

～たくさんのご来場、ありがとうございました。菊川病院から心より感謝申し上げます～

9月21日、菊川文化会館アエル大ホールで菊川市制15周年記念事業「地域の皆さま感謝デーSPセッション」を開催し、市内外から800人超の皆さまにご来場いただきました。

このイベントは、当院が地域の皆さまに感謝の思いを表すとともに、病院のことを知り親しんでいただくために毎年開催してきました。今年は第10回の節目に加え、市制15周年であるため記念事業として「健康と笑顔」をテーマに当院医師による健康講演会と落語家による健康落語の二本立てのスペシャル企画となりました。

「がんってなんだろう？がんを予防する」

くぼた おさむ
菊川市立総合病院健診センター 所長 久保田 修 医師

5つの健康習慣を実践することでがんになるリスクが低下することについて講演が行われました。5つの健康習慣とは、「禁煙」、「節酒」、「体を動かす」、「食生活を見直す」、「適正体重を維持する」のことで、これらについて様々な統計データ等を用いながら説明をしました。

男女ともに2人に1人ががんになる時代である今日、健康習慣を身に付け健康を維持することの大切さを改めて学ぶことのできる講演となりました。



久保田医師による講演

「健康ってなんだろう？みんなで笑顔になっちゃおうゾ」

まつだ まさかず
菊川市家庭医療センター 指導医 松田 真和 医師

「あなたの健康は何色ですか？」

人がイメージする健康の色はそれぞれで、必ずしも他人と一緒にするわけではありません。同じように、『健康』な状態をどう考えるかは自分自身で決めるものなので、一人ひとりの『健康』は異なるのです。つまり『健康』とは、あなたにとって心・身体・社会的な要素の3つのバランスが程よく取れた状態を『健康』な状態であると言えるのであって、他の誰かが決められるものではありません。『健康』についての医師の意見は大切ですが、あなたが決めたあなたの意見は最も大切であり、あなた自身が決められるものなのです。

例え病気であっても笑顔で健康に暮らせること、人との繋がりも健康にとって大切な要素であることを呼びかける講演となりました。



茶ラリーマンも登場し、「しあわせのわ」を合言葉にウェーブにより、会場が一つに



松田医師による講演

ヘルシートーク&健康落語

たてかわ ちょう
立川 らく朝 師匠

医学博士でもある異色の落語家、立川らく朝師匠による「ヘルシートーク」、「健康落語」を披露しました。

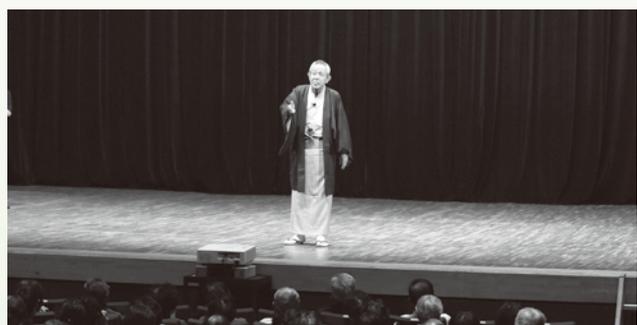
ヘルシートーク

軽妙なトークで観衆の笑いを誘ったヘルシートーク。「体に一番怖いのはストレスであるが、笑うことによりストレスもなくなること」や「免疫力も上がること」などをわかりやすく伝えました。

健康落語

病気の側面を切り取りつつ、健康についての啓発を促す創作落語。今回の健康落語は、「ろうそく」の演題で、テーマは「大腸がん」でした。

「大爆笑間違いなし」と広報した今回の地域の皆さま感謝デーSPセッションが、ご来場いただいた皆さまにとって笑顔で健康について改めて考えていただく機会になりましたら幸いです。今後も、菊川病院は地域住民の皆さまが「健康で笑顔に暮らす」ことができるように、日々努めてまいります。



ヘルシートーク



健康落語

病院の再編・統合に関する病院名の公表（報道）について

9月26日に厚生労働省より全国1,455の公立・公的医療機関等※1（以下、公立・公的病院）のうち、再編・統合の議論が必要と判断した424の病院名の公表がありました。この中には当院の名前も含まれておりましたが、その理由と今後の当院の方向性について、市民の皆さまにお伝えしたいと思います。



○公表内容と当院の見解

現在、国は団塊の世代全員が75歳以上となる2025年（令和7年）までに、超高齢社会に適した医療提供体制を地域の実情に合わせて整備していく「地域医療構想」を進めています。しかしながら、都道府県における「地域医療構想」の協議は遅々として進んでおらず、それを活性化するのが公表の目的と考えられます。

今回の公表は、2017年度のデータを基に、「急性期病床」をわずかでも有する公立・公的病院が対象となっています。がん・心疾患・脳卒中・救急医療・小児医療・周産期医療の診療実績が少ないことと、競合する病院が車で20分以内の場所にあるか否かを分析し、「再編・統合の議論が必要な病院」について選定しています。

静岡県内で対象となった公立・公的病院は41病院あり、うち14病院（全体の34.1%）が「再編・統合の議論が必要な病院」に選定されています。当院がある中東遠地域は、公表対象の5つの公立病院のうち比較的規模が小さい3つの「中小病院」、菊川市立総合病院（以下、菊川）と市立御前崎総合病院（以下、御前崎）、公立森町病院（以下、森）がすべて含まれています。

当院は、がん・心疾患・救急医療の診療実績は十分でしたが、脳卒中・小児医療・周産期医療の診療実績は乏しいとの分析結果でした。また、がん・心疾患・脳卒中・救急医療・小児医療・周産期医療のすべての領域で、中東遠総合医療センター（以下、中東遠）が近距離にある競合病院として評価されていました。当院には常勤の脳神経外科医が不在であり、脳卒中については中東遠や島田市民病院と密な連携を取っています。また、小児医療についても入院が必要な場合は中東遠に、周産期医療についても、ハイリスク分娩は中東遠や磐田市立総合病院（以下、磐田）に、NICU※2管理を要する場合は聖隷浜松病院にお願いしています。救急医療に関しては、御前崎が夜間救急を休止して以来、東遠地区の救急医療を当院と中東遠が協力して守っている状況です。したがって、当院にとって中東遠は連携先病院や協力病院であって、ほとんどの領域で競合病院には当たらないと考えています。

○中東遠地区でのこれまでの取り組み

平成22年度に、中東遠地域は県から交付された地域医療再生基金を使って、袋井市民病院・掛川市立総合病院の統合と菊川市家庭医療センター・森町家庭医療クリニックの新設を行いました。それを機に、磐田と中東遠は急性期医療の中核病院として、菊川と御前崎、森は地域密着型病院として、それぞれ機能分化していきました。その後も、急性期中核病院は高度急性期に向けて先進的医療の拡充を目標とし、地域密着型病院は急性期病床を回復期病床（回復期リハビリ病床や地域包括ケア病床）に転換し、入院から在宅復帰までの切れ目のない医療の提供を目標としました。これは、現在厚生労働省が進めようとしている地域医療構想に近い方向性を持ち、中東遠地域の5病院はお互いの立場を理解し、うまく役割分担している状況であるといえます。

当院としては、これを自らの足元を見直す良い機会だとは考えていますが、これを契機に当院がなくなったり、他院に統合されたりするということではありません。市民の皆さまには心配をおかけしましたが、これからも「わたしたちの病院」として存続していきますので、変わらぬご支援のほどよろしくお願い致します。

※1 国立病院機構、公立病院（県、市町村、一部事務組合立）や日本赤十字社、済生会、厚生連、社会医療法人、労働者健康福祉機構（労災病院）など、公益性が高い全国1,455機関が対象となっている。

※2 新生児用の集中治療室のこと

外来診療担当医表

受付時間は各診療科・曜日によって異なりますが、原則 8:00～11:00 (土、日、祝日は休診) です。
必ず各診療科の特記事項(表の最右欄)で確認してください。

区分		月	火	水	木	金	特記事項			
内科	午前	初診	◎ 白井 祐輔	△ 熊澤 あず美	◎ 富永 宏睦	◎ 望月 一文	△ 芹澤 亜紗美	初診は原則 紹介患者さまのみ		
			◎ 石橋 るり	△ 岩泉 守哉	△ 石田 夏樹	◎ 望月 優作	△ 美崎 昌子			
			◎ 望月 一文 ◎ 芹澤 亜紗美	△ 副院長 二見 肇	◎ 石橋 るり △ 瀧屋 寧	◎ 石橋 るり	△ 副院長 二見 肇 ◎ 望月 一文		禁煙外来 (予約制) (火・水・木 午前中)	
		再診	△ 古橋 一樹		△ 山下 美保	△ 神谷 陽輔	△ 釣谷 大輔	呼吸器・内分泌・腎臓内科 の初診は当日、初診担当 医師が診察します		
			◎ 富永 宏睦 ◎ 熊澤 あず美	院長 松本 有司 ◎ 望月 優作	院長 松本 有司 △ 熊澤 あず美	◎ 富永 宏睦	白井 祐輔			
			腎臓	△ 藤倉 知行						
			午後	再診	内分・呼吸		△ 山下 美保			
		リウマチ科	午前	予約制			△ 大橋 弘幸	△ 釣谷 大輔	診療日 10/24(木)、11/7(木) 事務局合せ	
		小児科	午後	特殊外来 (再診予約制)		(慢性期外来 第1・3週) ◎ 松下 理恵	予防接種(15:00～) ◎ 松下 理恵 /△ 増永 陽平(第3週)	乳児健診 ◎ 松下 理恵	(神経外来 第2・4週) △ 鈴木 輝彦	第3火曜日 14:00～ 慢性期外来 完全予約制
					◎ 松下 理恵	◎ 松下 理恵	◎ 松下 理恵	◎ 松下 理恵		
◎ 松下 理恵										
脳神経外科	午後	初・再診			△ 鮫島 哲朗		(木)受付8:00～15:00			
外科	午前	初診		△ 古橋 暁 (10:00～診療)	◎ 内山 隆	◎ 中村 光一 (9:00～10:00) △ 廣津 周 (10:00～11:00)	◎ 中村 光一	乳腺初診電話予約 15:00～16:30		
			◎ 内山 隆 ◎ 中村 光一	◎ 内山 隆 ◎ 中村 光一	◎ 内山 隆					
		再診			△ 関本 晃					
		処置	△ 関本 晃			△ 関本 晃				
	午後	予約制					静脈瘤外来(偶数週)			



増加している大腸がん

外科 中村 光一

① 一次予防：疾病の発生予防

がん統計によると、2014 年の大腸がん罹患数（新たにがんと診断されること）は男性で約 7.7 万人、女性で 5.7 万人であり、男性で 3 番目、女性で 2 番目に多いがんとなっています。男女を合わせると大腸がんが最も多いがんになります。さらに 2016 年の全国がん登録速報では男性で約 9.0 万人、女性で 6.8 万人と増加傾向を示しています。

2007 年に、世界がん研究基金（WCRF）と米国がん研究協会（AICR）による報告書「食物・栄養・身体活動とがん予防」が、世界中で行われた研究結果を取りまとめ、赤肉（獣肉：牛・豚・羊など）・加工肉（ハム・ソーセージ）摂取は大腸がんに対して「確実なリスク」と評価しています。平均的には欧米より依然少ないとはいえ、アジアでの肉類の摂取量は増えています。報告書では、赤肉の摂取を週に 500g 未満とするよう推奨しています。ただし、2013 年の国民健康・栄養調査によると日本人の赤肉・加工肉の摂取量は一日あたり 63g と非常に低く、日本人の平均的な摂取の範囲であればリスクに与える影響は少ないと言われています。

また、体格指数（BMI）が 30 以上では、25 以下の人と比べて大腸がん罹患のリスクが 1.5 倍になります。

大腸がん予防の生活習慣として現時点でわかっていることは、**飲酒、肥満**は大腸がんリスクを増大させ、**運動**はリスクを低下させることが**確実**と評価されています。これらの生活習慣に気を配ることが、肉の過剰摂取を避けることと合わせて、大腸がんの予防には大切と考えられます。

食物関連要因とがん [WCRF/ AICR 2007]

リスクを下げるのが 確実なもの		リスクを上げるのが 確実なもの	
結腸がん	運動	結腸がん 直腸がん	肥満
リスクを下げる 可能性大のもの		結腸がん	内臓脂肪、高身長、 赤肉・加工肉、 アルコール(男性)
結腸がん 直腸がん	にんにく、 食物繊維、 牛乳など	リスクを上げる 可能性大のもの	
		結腸がん	アルコール (女性)

② 二次予防：検診がとても大切です！

大腸がんは最初、大腸の内側の壁（粘膜）から発生します。そのまま放置されると壁の深くに進行し、血管やリンパ管という管に入り込み（脈管侵襲）、周囲臓器、リンパ節または他の臓器へと広がっていきます。しかし、大腸がんの場合には小さいがんはもちろんのこと、比較的大きながんであっても全く症状が出ないことが多く、検診（便潜血検査等）で初めて大腸がんが見つかったという患者さんも多くいます。便潜血陽性になったら、痔が原因とは思わず、一度大腸内視鏡検査を行うことをお勧めします。便潜血はたとえ 2 回行っても、進行がんでは 5～10%、早期がんでは 40～60%が便潜血陰性になるとの報告もあり、確実なものではありませんが、何もしなければ症状がでないままどんどん進行してしまう可能性があります。そのため、検診（年に一度くらい）は非常に大切であり、小さいうちに発見されれば内視鏡治療で治ってしまうかもしれません。

③ 大腸がんの治療法

かなり早期に発見できた場合には、大腸内視鏡で切除することも可能ですが、ある程度進んだものでは内視鏡による切除は不可能になります。この場合、大腸がんの根治療法は外科的切除になります。

④ 腹腔鏡手術

従来の開腹手術では、お腹を大きく切って直接お腹の中を見ながら手術を行います。一方、腹腔鏡下手術では「腹腔鏡」というカメラを使って、お腹の中の状態をテレビ画面で見ながら、数か所の穴から長い器具を挿入して手術を行います。お腹を大きく切ることがないため、手術のキズ（創）が小さく、そのため痛みも少なく済み、手術後の回復も早くなります。ただし欠点もないわけではなく、手術の時に直接お腹の中を見たり（腹腔鏡では立体的に見えない）、触れたり（腹腔鏡では触覚がない）することができないため手術時間が長くなってしまう傾向があります。しかし、こういった欠点も手術器械や技術の進歩で改善されつつあります。したがって、以前にお腹の手術をして強い癒着がある場合やかなり進行している場合でなければ、腹腔鏡で手術を行うことが増えています。

超音波装置が新しくなりました

診療放射線科 鴨川 真也

10月より新しい超音波装置が導入されました。

まず超音波検査とはどのような検査かを簡単に説明します。

超音波とは、人の耳では聞こえない高い周波数の音のことを言います。超音波は臓器や組織の境界で反射する性質があり、これを利用して反射してくる音を受信し画像を作り出しています。

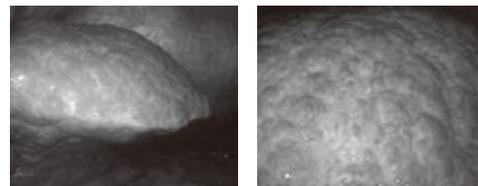
今回、当院で導入された装置では、肝臓の硬さを測る「肝臓エラストグラフィー」という新しい機能があります。



肝臓の硬さとは？

肝臓は、人体における代謝をコントロールする重要な臓器です。肝臓の病気ではウイルス性肝炎（B型やC型など）、これが慢性化した状態の慢性肝炎、及び肝硬変、肝がんがよく知られています。また、飲酒によるアルコール性肝炎も肝硬変や肝がんに行進する場合があります。食生活の欧米化により、脂肪肝の人が増加し、その中に5～10年で5～20%の人が肝硬変に行進すると考えられる非アルコール性脂肪肝炎（non alcoholic steato hepatitis、NASH）があり近年注目されています。いずれの病気も、肝臓は反復的または持続的に損傷すると線維化を起し硬くなり、肝硬変を経て肝がんに移行する可能性があります。

非アルコール性脂肪肝の肝硬変画像



線維化は速やかに修復されれば改善することがありますが、数か月から数年にわたって繰り返されると永久にもとに戻らなくなります。線維化が進んだ高価な肝臓は発がんリスクが高いと報告されており、肝臓の硬さの評価がきわめて重要です。

一般的に線維化の状態を知るためには肝生検が行われます。肝生検は、肝臓に直接針を刺し、組織を採取する検査で体への侵襲が高い検査です。しかし、超音波装置を用いて肝臓の硬さが測定できる「肝臓エラストグラフィー」という解析方法が開発されました。数十秒で肝臓の硬さが測定でき、痛みを伴わない方法で線維化や肝臓の脂肪量を測定することができます。

今年10月より当院診療放射線科でも新しい「肝臓エラストグラフィー」の測定ができる超音波装置を導入しました。最新式の技術を備えた機器によって、今後も早期発見・早期治療につなげ質の高い医療を提供していけるよう、放射線科一同日々努力してまいります。その他、何か疑問に感じていること等がありましたらお気軽に診療放射線科までお問い合わせください。



当院に導入した超音波装置

掛川グリーンロータリークラブ様より車椅子と歩行補助器を寄贈



9月26日、掛川グリーンロータリークラブ様より車椅子と歩行補助器を寄贈していただきました。

寄贈いただいた車椅子と歩行補助器は、当院患者さまの介助に活用し、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



掛川グリーンロータリークラブの皆さまと松本院長ら病院職員



寄贈していただいた車椅子と歩行補助器



掛川グリーンロータリークラブ会長太田様と松本院長

院内防災訓練

9月13日に院内の食堂「キセキレイ」での火災発生を想定した院内防災訓練が実施されました。この訓練は、菊川市消防署立ち合いのもと、火災が発生した場合における、初期消火、非常通報、院内患者の避難誘導・搬送・情報収集と報告・指揮命令の伝達、防火設備の起動確認及び実践に即した対応等を検証するために毎年行っているものです。

今後も院内患者の安心・安全を第一に考え、院内防災体制の確立に向けて、継続的に検証を進めてまいります。



消火器の使用方法を確認

高校生が院内見学 ～将来、一緒に働きませんか？～



実際の検査機器を見学

将来、医療者になることを目指している、または興味のある高校生を対象に、8月6日に診療放射線科の見学、8月7日～9日に高校生1日ナース体験を実施しました。

診療放射線科の見学では、2名の高校生を対象に診療放射線技師の仕事を紹介した後、実際にMRIや骨密度検査を体験してもらいました。

高校生1日ナース体験では、3日間で計10名の参加があり、院内の様子を見学したり、実際に入院患者の血圧を測定したりしました。また、実際に使っている聴診器などの機器を体験してもらいました。

今回の経験が高校生の未来につながることを期待しています。未来の「なりたい自分」を目指してがんばってください！当院は皆さんをお待ちしています！



病棟にて実際の看護を体験

医師異動 退任医師の皆さま、ありがとうございました。



外科 **大貫 義則**(令和元年9月30日退任)

9月末をもって、菊川病院を退職することとなりました。平成18年2月に着任し、平成19年から約12年間、副院長としてお世話になりました。菊川市民の皆さまには、長きにわたりご支援いただき、心よりお礼申し上げます。



整形外科

小木 浩孝

(令和元年6月30日退任)

採用情報 看護師を募集します。当院では、令和元年度に就職できる方を募集しています。

募集職種 看護師

募集人員 看護師・2名程度

待遇 基本給(短・2卒)219,000円

基本給(短・3卒)224,700円

基本給(大学卒)231,100円

※有資格者は経験年数により決定

諸手当 通勤手当、扶養手当、住居手当ほか

※菊川市職員の給与に関する条例等の規定により支給

賞与 年2回(4.45月分※平成30年度実績)

年次休暇 年間20日



応募資格 看護師:看護師資格を有する者

地方公務員法第16条の欠格事項に該当しない方

令和元年度中に勤務できる方

勤務時間 1週間 38.75時間 1日 7時間45分(週休2日制)

看護体制 3交替 日勤 8:15～17:00

準夜勤 16:15～1:00

深夜勤 0:15～9:00

試験日時 随時

申込方法 下記へ問い合わせまたは病院ホームページをご覧ください。

問い合わせ 病院総務課総務係(Tel:35-2130)